

月次売上情報

2025年4月期 店頭販売実績

(単位:前年比)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	上期累計
日本	日本計	103%	95%	97%	103%			99%
	店舗	104%	95%	99%	101%			100%
	EC	100%	95%	90%	108%			98%
	日本既存店	102%	94%	95%	100%			98%
	店舗	102%	94%	97%	98%			98%
	EC	101%	95%	89%	109%			98%
韓国	韓国計	91%	81%	84%	80%			84%
	店舗	92%	79%	82%	75%			82%
	EC	84%	88%	94%	119%			96%
	韓国既存店	91%	80%	83%	79%			83%
	店舗	92%	79%	81%	73%			81%
	EC	85%	87%	94%	118%			96%
合計	日本・韓国計	97%	87%	90%	89%			91%
	店舗計	98%	86%	89%	85%			90%
	EC計	94%	92%	92%	113%			97%
	既存店計	96%	86%	88%	88%			90%
	店舗計	97%	85%	88%	83%			88%
	EC計	95%	92%	91%	113%			97%

		7月	8月	9月	10月	11月	12月	下期累計	通期累計
日本	日本計								99%
	店舗								100%
	EC								98%
	日本既存店								98%
	店舗								98%
	EC								98%
韓国	韓国計								84%
	店舗								82%
	EC								96%
	韓国既存店								83%
	店舗								81%
	EC								96%
合計	日本・韓国計								91%
	店舗計								90%
	EC計								97%
	既存店計								90%
	店舗計								88%
	EC計								97%

(4月の店頭販売概況)

日本では、低気温の影響で春夏物衣料の動きが鈍く苦戦しましたが、主カインポートブランドのプロパー販売が好調に推移しました。「イル ビゾンテ」では折り財布やカードケースのほか、スポーツメーカーとコラボレーションしたカットソーなどの機能素材アイテムが売上拡大に寄与しました。「マリメッコ」では新作のニットバッグやECを中心に定番ホームカテゴリーが稼働した結果、4月全体では店舗・ECともに前年同月を上回りました。

韓国では、国内の消費動向が低迷していることに加え、日本同様に前半は低い気温が続いたことで商業施設への集客に苦戦し、初夏物の販売が低調に推移しました。後半はECにおいて販促施策を実施したことでセール販売が拡大し盛り返したものの、為替レートの変動によるマイナス影響もあり、4月全体では前年実績を大幅に下回って終了しました。

以上の結果、4月単月の日本・韓国の合計は、前年比89%(店舗85%、EC113%)、既存店の前年比88%(店舗83%、EC113%)となりました。

(注) 1、 上記のデータは、当社グループの月次で集計可能な国内・韓国における実店舗及びオンラインショップでの販売実績(小売価格)に基づいています。

2、 韓国における販売実績は、期中平均の為替レートを使用して円換算しています。